

♪ 2021年度 **poco a poco** ♪

Nr. 20 2021年12月20日(月)

文責:プファイル・辰巳

♪ もういくつ寝ると…

小学部1年生の教科書には「お正月」という曲が掲載されています。この曲を作曲したのは「花」や「箱根八里」などで知られる滝廉太郎です。作詞は東くめという女性で、滝廉太郎・東くめのコンビで作曲された童謡には、「鳩ぽっぽ」もあります。

さて、この「お正月」の歌詞の通り、年の瀬が迫ってきました。もうすぐ終わろうとしている2021年も、昨年ほどではないにしろ、コロナに右往左往させられた1年でした。

そんな中でも、子どもたちは明るく元気に学校生活を送ることができました。

2022年は、さらにのびのびと安心して学校生活が送れるようにと祈っています。クリスマス・大みそか・お正月…と子どもたちには楽しみな行事がいっぱいの冬休みです。どうぞお身体ご自愛くださって、充実した年末年始をお過ごしください。



音楽こぼれ話 < 来年は寅年, でも… >

「子ゾウの行進」「小犬のワルツ」「おどる子猫」…他にも動物がテーマになった音楽はたくさんあります。ところが、来年の干支である「トラ」が登場する音楽がどうも思いつかないのです。サン・サーンスの「動物の謝肉祭」という曲にも、ライオンやロバ、ゾウ、亀まで登場するのに、トラは出てきません。ちょっと不思議ですね。

「～♪～ 鬼のパンツは…」と始まる曲があって、鬼のパンツはトラ模様なのですが、トラの歌ではありません。中国の昔話や各国の童話にはトラがよく登場するのに、

何故か音楽の世界では、トラは忘れられた存在なのか、はたまた何か別の理由があるのでしょうか。

話は音楽から少し外れますが、私はドイツの有名な絵本作家ヤノシュ(ホルスト・エッカート)のクマさんとトラくんの絵本が大好きで、マグカップやお皿などのグッズも持っています。Hörbücher(オーディオブック)は、まだ持っていないので、今度手に入れたら聞いてみようと思います。トラくんのテーマ曲があるかもしれませんね。



「虎の巻」「虎の子」「虎穴」「虎視眈々」…トラを使った熟語は、いくつも思い浮かぶのに、トラの音楽が思い浮かばないとは。関西の野球チームの応援歌以外の「トラの音楽」、どなたかご存知の方は、今度教えてください。

冬休み中に楽器のお手入れを!

コロナ禍にあり、鍵盤ハーモニカやリコーダーの授業はそんなにたくさんはできませんでした。それでも、長い2学期、ずっと使用していただきましたので、鍵盤ハーモニカのホースやリコーダーの吹き口などの洗浄とお手入れをよろしくお願いします。また、時間があったら少し「指使い」の復習もしておいてください。

今学期で、本校を去られるみなさまへ

音楽を心の友として、世界中どこに行かれても、いくつになられても音楽を愛する人でいてください。みなさまのご健康とご活躍をお祈りしております。

そして、すべての方々にとって

2022年が良い年となることを願いつつ…

Einen guten Rutsch ins neue Jahr !!